

(オプトアウト)

米沢市立病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	難聴が疑われて精密検査機関・二次聴力検査機関を受診した0歳-6歳児 についての社会的調査
該当者	難聴が疑われ米沢市立病院を受診した0歳～6歳までの児
当院の研究責任者	米沢市立病院 耳鼻咽喉科 窪田俊憲
研究代表者	米沢市立病院 耳鼻咽喉科 窪田俊憲
本研究の目的	乳幼児の難聴早期発見をするための機会として、0歳児の新生児聴覚スクリーニング、1歳6カ月健診、3歳児健診、および就学時健診がありますが、その他に音への反応が薄い、言葉が遅い、という理由で家族が心配して小児科医や耳鼻科医に助言を求めることもあります。健診や助言を聞く機会がなかったために難聴の発見が遅れた症例も認められます。日本耳鼻咽喉科学会ではすでに2年に1度の割合で、全国の精密聴力検査機関に対して0歳から6歳までに発見された難聴児について、紹介元や検査結果、療育先、すでに受けた検診結果についての調査を行っています。これにより新生児聴覚スクリーニングやその他の健診と難聴発見年齢について解析し、日本耳鼻咽喉科学会から早期に難聴を発見するための健

	診のあり方など政策提言を発信することが可能になります。
実施予定期間	倫理審査承認日より 2026 年 3 月 31 日まで
研究の方法	難聴が疑われて二次聴力検査機関（米沢市立病院）を受診した 0、1、2、3、4、5 および 6 歳児について、受診した契機、発見された難聴児の人数、難聴の種類、難聴発見後の療育の有無について集計し、日本耳鼻咽喉科学会へ報告します。
研究に用いる試料・情報の種類	受診した契機、発見された難聴児の人数、難聴の種類、難聴発見後の療育の有無
外部への試料・情報の提供・公表	日本耳鼻咽喉科学会へ調査内容を報告します。調査結果は日本耳鼻咽喉科学会が主宰する講演会にて公表を行うとともに、日本耳鼻咽喉科学会誌上およびホームページ上に調査報告書を掲載して情報公開が予定されています。
個人情報の取扱い	お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は使用しません。 また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
利益相反	利益相反はありません・
お問合せ先	米沢市立病院 耳鼻咽喉科 窪田俊憲 TEL : 0238-22-2450